

取扱説明書	多連ベース	形式
		M2BS2

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・多連ベース 1台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうかスペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力
変換器参照（一括給電のため、変換器の供給電源は統一して下さい）

●取扱いについて

- ・本器から変換器の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が $-5 \sim +55^{\circ}\text{C}$ を超えるような場所、周囲湿度が $30 \sim 90\% \text{RH}$ を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。
- ・配線などで本体の通風口を塞がぬようご注意下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

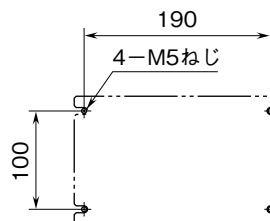
各部の名称

■背面図

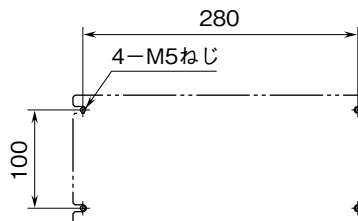


取付方法 (単位: mm)

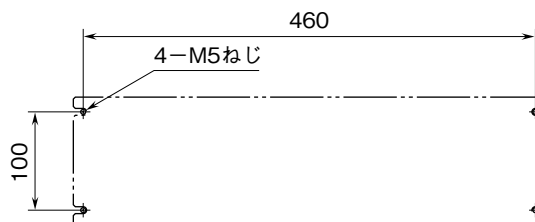
■M2BS2-04



■M2BS2-08



■M2BS2-16



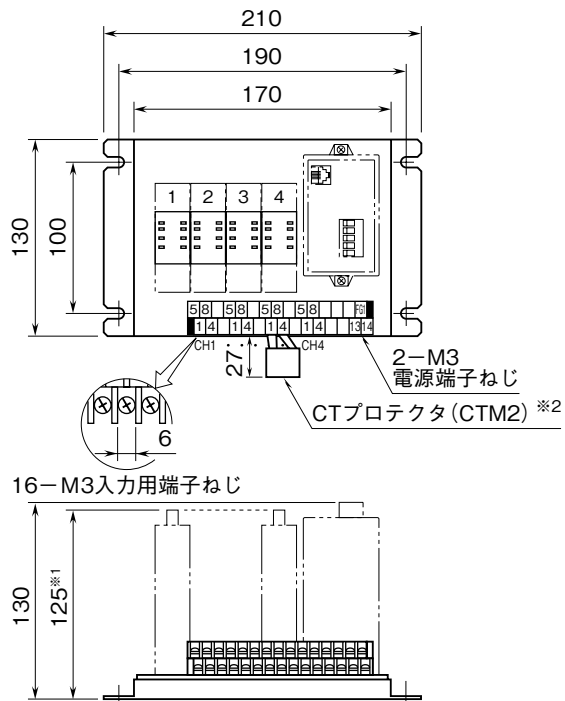
接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位: mm)

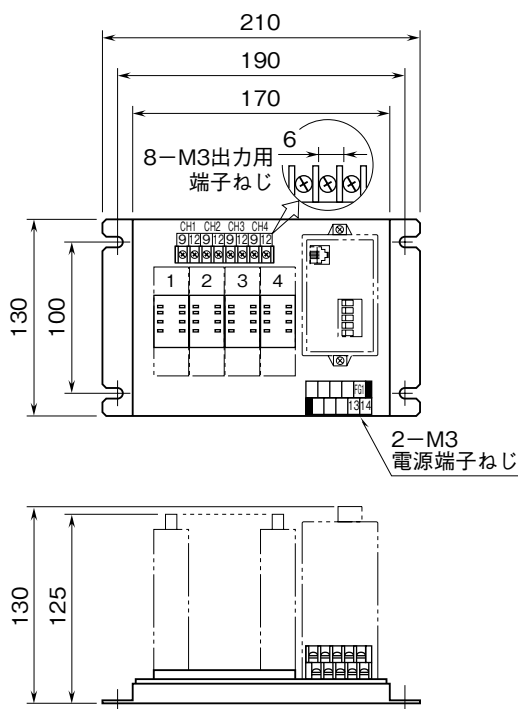
■M2BS2-04

●入力用



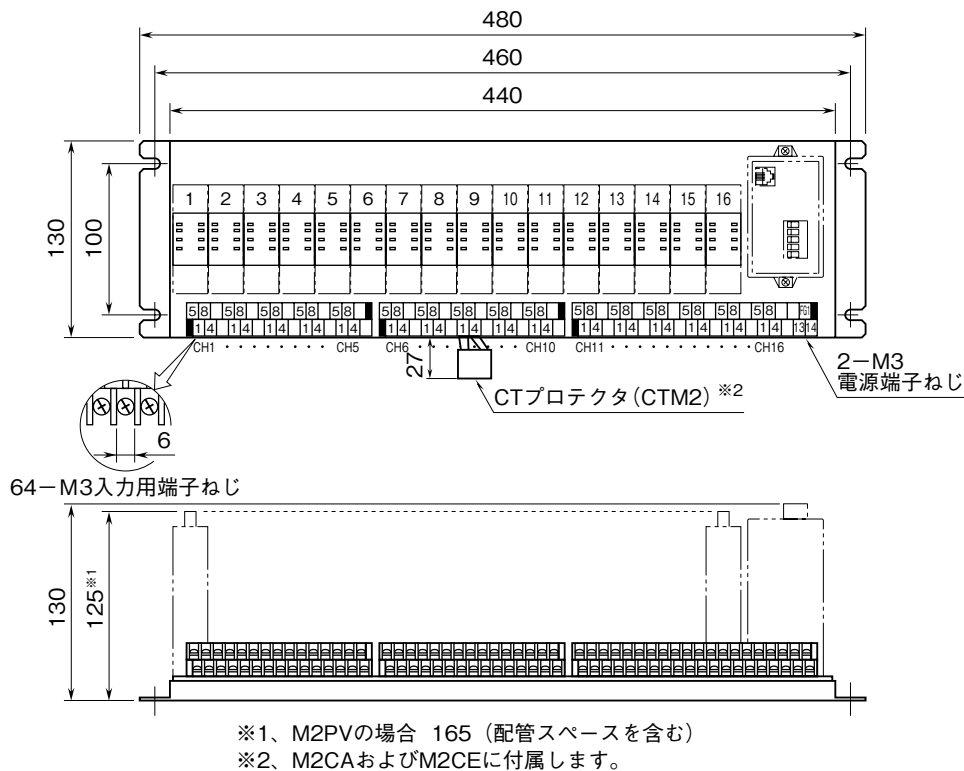
※1、M2PVの場合 165 (配管スペースを含む)
 ※2、M2CAおよびM2CEに付属します。

●出力用

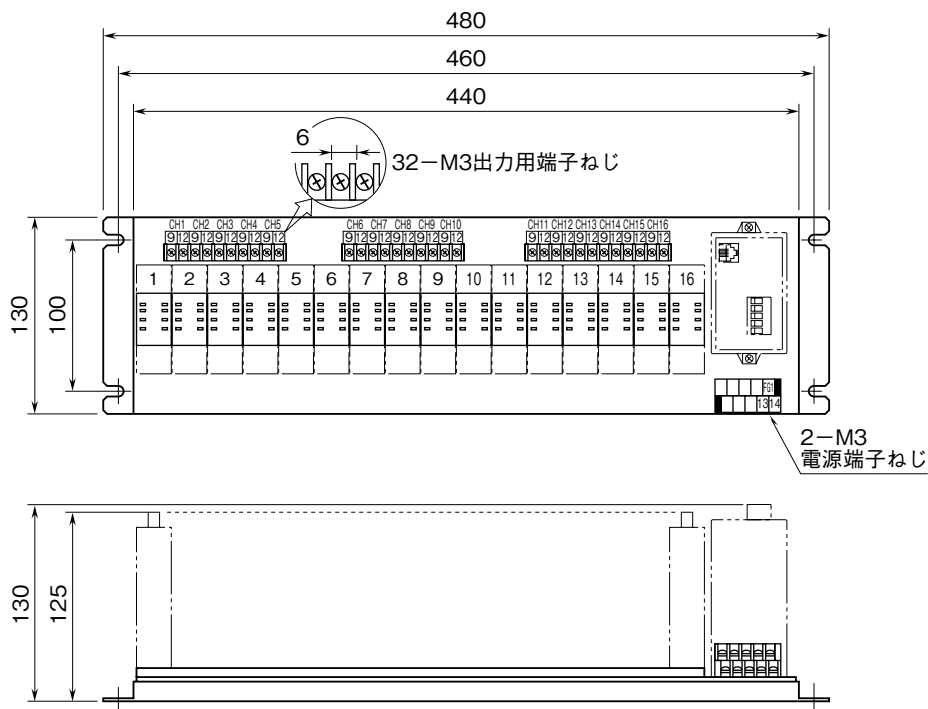


■M2BS2-16

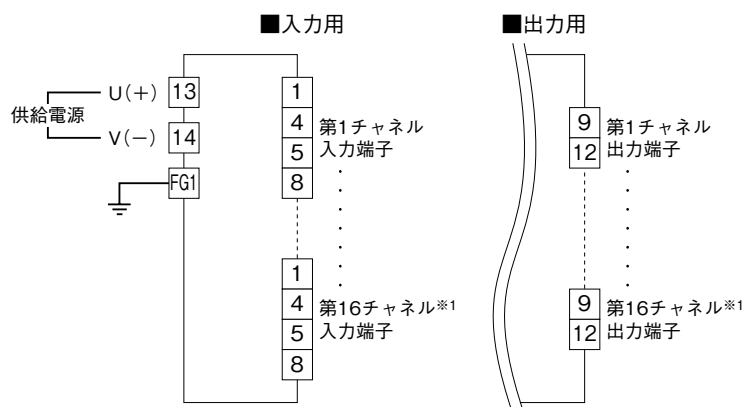
●入力用



●出力用



端子接続図



※1、4台目は第4チャンネル、8台目は第8チャンネルとなります。

配線

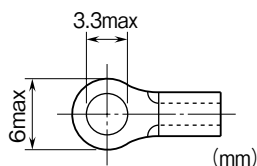
■端子ねじ

締付トルク：0.8 N・m

■圧着端子

圧着端子は、下図の寸法範囲のものを使用して下さい。
また、Y形端子を使用される場合も適用寸法は下図に準じます。

推奨圧着端子：適用電線 0.25 ~ 1.65 mm² (AWG22 ~ 16)
推奨メーカ 日本圧着端子製造、ニチフ



点検

- ① 本体および変換器の端子接続図に従って結線がされていますか。
 - ② 供給電源の電圧は正常ですか。
 - ③ 取付、環境条件は正常ですか。
- 以上の項目をご確認の上、運転を開始して下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意しております。併せてご利用下さい。

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。